

苫小牧市長 岩倉博文 様

大会等誘致推進に関する要望書

苫小牧市大会等誘致推進協議会

平成31年度大会等誘致推進に関する要望について

本協議会は、平成12年5月の設立以来、苫小牧市をはじめ、関係機関・団体との連携を図り各種大会及び合宿団体の誘致活動に取り組んで参りました。

苫小牧市におかれましても、各種スポーツ施設の整備拡充に多大なるご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

本協議会と致しましても、これら充実した施設、冷涼な気候、交通拠点都市としての利便性や経済性など、本市の優位性を強くアピールすると共に、市民の歓迎機運の熟成を図ることで、本市における大会の開催並びに合宿誘致をより一層推し進めていきたいと考えています。

大会等誘致推進事業が産業・体育・文化の振興を促進し、交流人口の増大による本市経済の活性化に向けた大きな役割を担うことから、「平成31年度大会等誘致推進に関する要望書」を提出させていただきます。

これらの要望につきましては、本協議会と致しましても関係機関・団体と連携を図り、発展的に取り組んで参りますが、苫小牧市におかれましても総合的な視点から、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年11月29日

苫小牧市長 岩倉博文 様

苫小牧市大会等誘致推進協議会

会長 市町峰行

1 白鳥王子アイスアリーナ ウォーミングアップエリアの設置について【新】

白鳥王子アイスアリーナはアイスホッケー競技を中心に、国際大会や全国大会等が多数開催されていますが、現在、ウォーミングアップ及びダウンは、アリーナ前のエントランスで行われています。

関係競技団体やチーム等からも要望が寄せられていることに加え、練習効率の向上や一般客への安全性の配慮、国際大会誘致の観点から、白鳥王子アイスアリーナ近辺へのウォーミングアップエリアの設置について、ご検討頂きますようお願いいたします。

2 スポーツ合宿等補助制度の継続について【新】

平成 27 年度に新設されたスポーツ合宿等補助制度により、本市を合宿地を選ぶ団体が増え、多数のリピート利用に繋がっています。合宿地としての知名度向上と、宿泊施設を始めとする関連事業者への経済波及にも大きな影響があることから、本制度の継続をお願いいたします。

3 日本学生氷上競技選手権大会の 4 年に一度の開催について【新】

日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）開催について、学生が在学中に氷都・苫小牧でプレーができるよう、4 年に一度苫小牧での開催をお願いいたします。

4 総合体育館の建設（改修）について【継続】

総合体育館は、昭和 48 年に建設され、市民はもとより、各種大会や合宿等でも利用され、本市のスポーツ振興に大きな役割を果たしてきましたが、経年による老朽化が進んでいます。

今後、市政計画立案の際、多様な機能を有し、スポーツを通じた賑わいと交流人口の増加に繋がる新たな総合体育館の建設について、ご検討を頂きますようお願いいたします。

5 緑ヶ丘総合運動公園の環境整備と諸施設の利用について【継続】

陸上競技場、野球場、テニス場に続き、サッカー場の改修も行われており、総合運動公園としての機能がますます充実します。

これを契機に、本協議会も誘致活動をより積極的に行って参りたいと考えております。

つきましては、ハード・ソフト両面において利用者の利便性を考慮した施設環境整備と運営をお願いいたします。

- (1) 合宿チームのスケジュールを考慮した諸施設の利用について、ご協力をお願いいたします。
- (2) 道央及び道北のテニス、陸上等の強豪チームは、春休み（3月）に練習場所を求めて雪の少ない地域で合宿を行っています。道内屈指のオムニコート、全天候型陸上競技場、積雪の少ない気候等、本市の優位性を活かした合宿誘致活動を推進する為、テニス場及び陸上競技場の早期運営について要望いたします。

6 全道全国大会の誘致について【継続】

本市における合宿状況は、従前から学生・社会人を問わず、氷上競技及び陸上競技が多くを占めております。

道内外からの合宿誘致について、道内随一の交通アクセス環境に優れた本市にとって“地の利”を活かす絶好の機会として捉え、誘致活動を積極的に行ってまいりたいと考えています。

各種の誘致活動の推進には、道内他都市に見られる各自治体が先頭に立ったまちぐるみの取り組みが大きな要素となることから、本市における誘致推進活動に対し、より一層のご理解、ご支援をお願いいたします。

7 大会誘致事業の推進体制の強化について【継続】

苫小牧市大会等誘致推進協議会の実情及び取巻く環境をご理解いただき、財政的支援の強化をお願いいたします。